

進化する建設業界を国府っ子が体感 武田組プレゼンツ ドローン& VR 体験



ドローンが照射したレーザーの跳ね返りをキャッチしている様子。このデータを集めて3Dモデルデータを作成する。

国府っ子が工事現場で活躍する最新技術を体感！ (株)武田組による出前授業で、ドローンやVRを通して建設業界への理解を深めた。



プロペラを含めると直径は約1m。プロ仕様のような産業用ドローンに興味津々。

現在、同小学校前の南北道の道路工事を手がけている武田組。地域貢献活動の一環として、建設業界に関心を持つために、「将来を考える時に向けて頭の片隅に置いてもらえたら」(同社土木工務部長・大瀧止さん)と、学校に授業を持ちかけて3、4年生の社会科として実

施した。

授業では武田組に目崎町の橋高工業(株)、福山市の西尾レントオール(株)が協力。グラウンドでは産業用ドローンを飛ばして校舎やグラウンドにレーザーを照射し、3Dモデルから建物の高さや距離などのデータを素早く正確に計測してみせた。また体育館内では危険予測のVR体験があり、クレーンに吊り下げた柱が落下するなどのグラフィック映像をゴーグルやモニターで視聴。トラブル回避対策を考え、「工事現場では安全第一」を

しっかり学んでいた。

最新技術の数々を目の当たりにし、4年生の藤井優衣さんは、「目の前物が落ちてきてすごく怖かった」とVR体験が特に印象に残った様子。授業を通して、「安全に気をつけて府中市を発展させるために頑張ってください」と話していた。